

業務委託見積システム for Windows Ver1.3.0 バージョンアップ手順

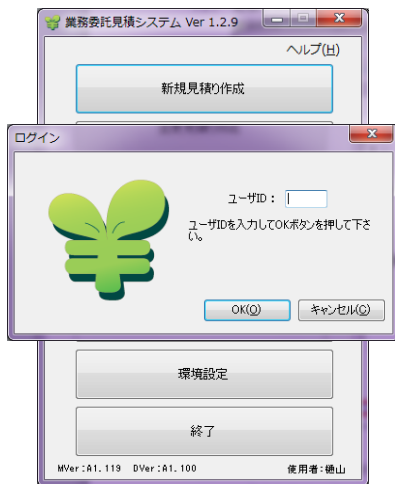
2014.10.14

※自動バージョンアップ機能又は手動バージョンアップで既に Ver1.3.0 になっている場合は2から進めて下さい。

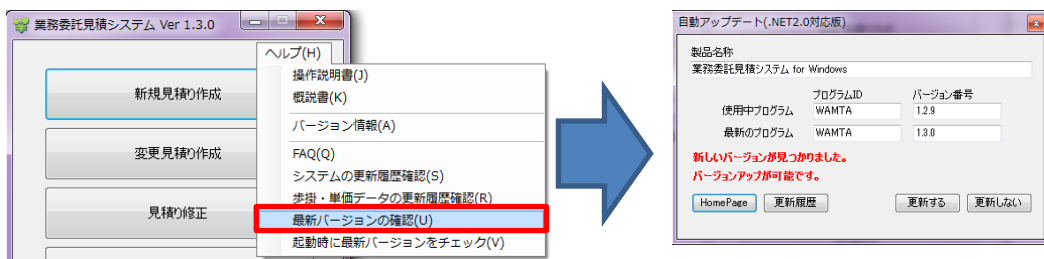
1. 見積システム本体のバージョンアップを行う

見積システム本体の最新バージョン（Ver1.3.0）を公開しておりますので、通常バージョンアップ方法で更新して下さい。

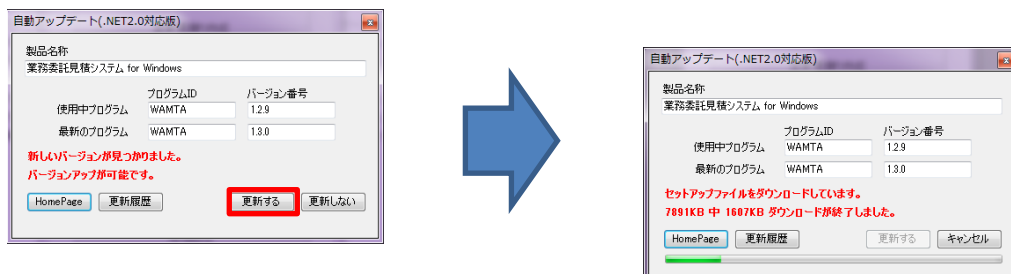
- (1) 見積システムを起動し、ログインします。



- (2) ヘルプ-最新バージョンの確認を選択します。

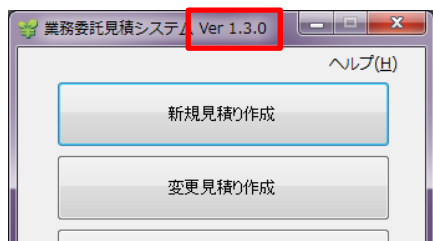


- (3) 「新しいバージョンが見つかりました。バージョンアップが可能です。」と表示され最新プログラムのバージョン番号が1.3.0となっていることを確認の上、「更新する」ボタンをクリックします。



- (4) ダウンロードが終了すると、システムが自動的に終了されセットアップが実行されます。通常「ユーザアカウント制御」画面が表示され、コンピュータへの変更を許可するか確認されますので「はい」をクリックします。(OS側の設定によっては確認されないケースもあります)

- (5) セットアップが完了すると自動的に見積システムが再起動され、ログイン画面が表示されます。再度ログインをし、初期メニューの上部に表示されているバージョンが Ver1.3.0 になっていることを確認します。



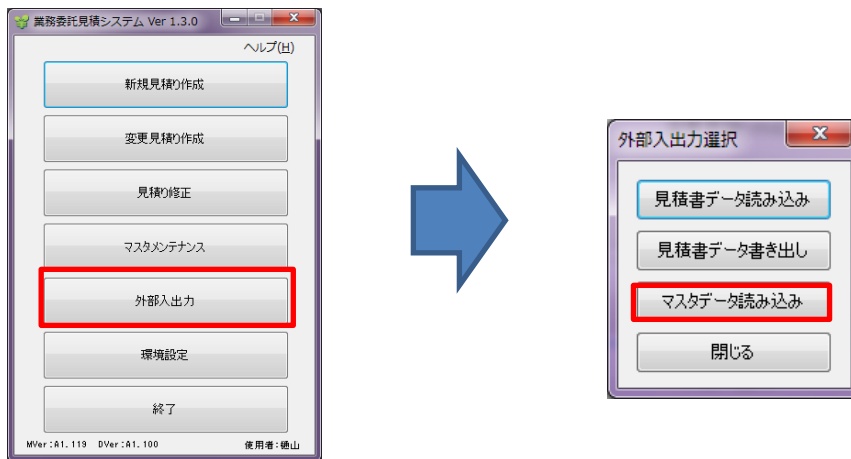
正しく更新されていればシステム本体のバージョンアップは完了です。見積システムは起動したまま次の作業に進んで下さい。

2. 宿泊旅費.XML を読み込む

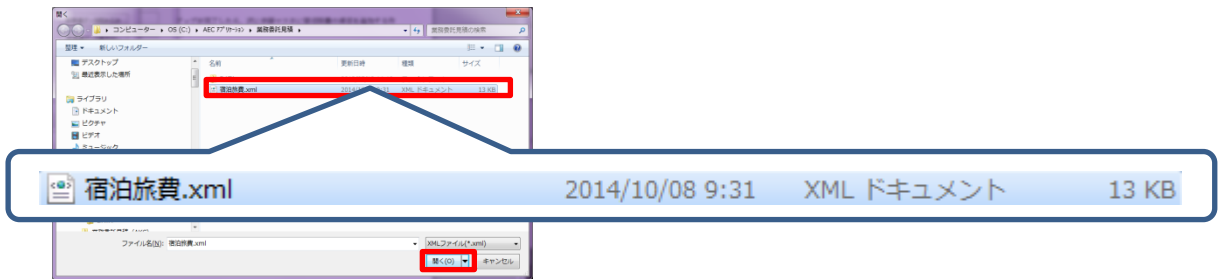
システム本体のバージョンアップが完了したら、次に歩掛マスタに宿泊旅費の項目を追加する作業を以下の手順で行って下さい。

※通常のマスタ更新手順と同じですが、読み込む XML ファイルがシステムのバージョンアップ時に既にパソコン内に登録してありますので、弊社ホームページからダウンロードして頂く必要がありませんのでご留意下さい。

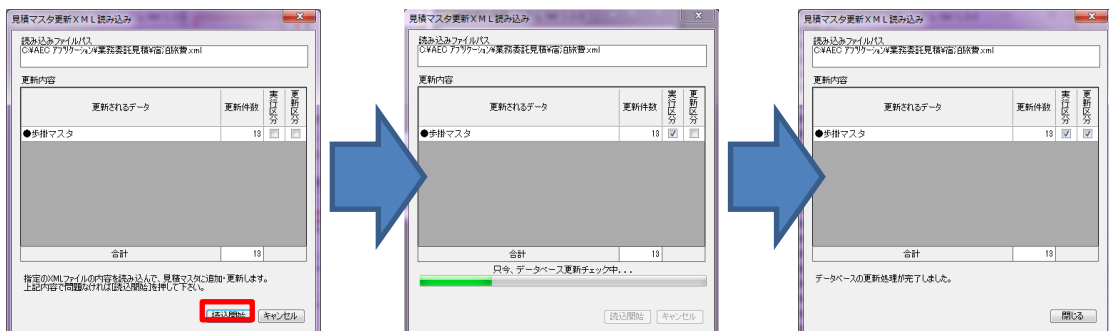
- (1) 見積システムの初期メニューから「外部入出力」ボタンを押し、「マスタデータ読み込み」ボタンを押します。



- (2) 読み込む XML ファイルを選択する画面が表示されます。見積システム本体のバージョンアップが正しく完了していればシステム本体と同じフォルダ内に「宿泊旅費.XML」というファイルがありますので、それを選択し「開く」を押します。

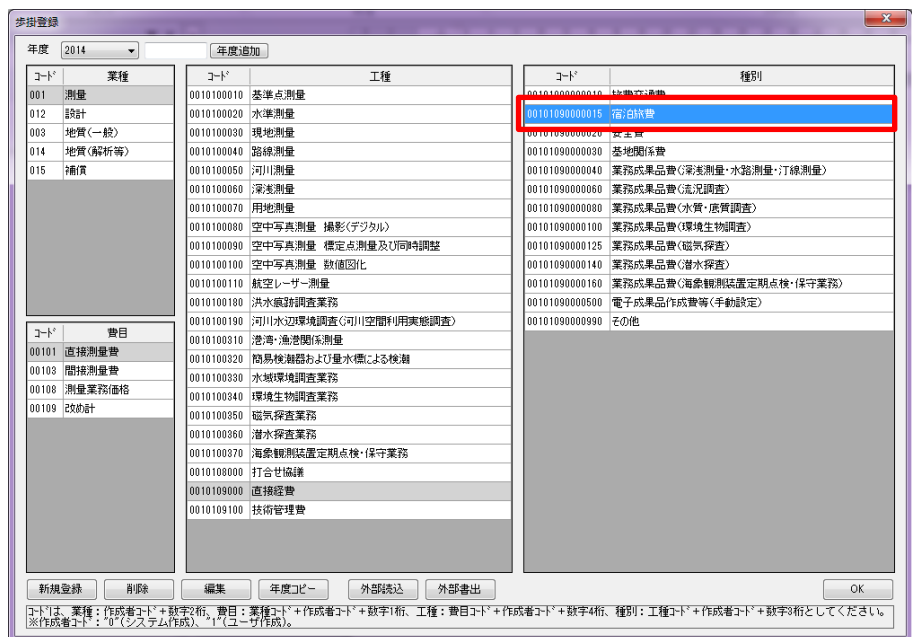


- (3) 「見積マスタ更新 XML 読み込み」画面が表示され、歩掛マスタに 13 件の更新を行う旨の情報が表示されるので、「読み込み開始」ボタンを押します。



読み込みが完了したら「閉じる」ボタンを押して画面を閉じます。

- (4) 初期メニューの「マスタメンテナンス」から「歩掛マスタ」に「宿泊旅費」が登録されていることを確認します。



- ※宿泊旅費は、地質（一般）以外の業種は直接経費配下に追加されています。
- ※地質（一般）については間接調査費の旅費交通費配下に追加されています。
- ※マスタメンテナンスで追加された「宿泊旅費」を開いても、基準数量、計上数量、単位以外は設定されていません。
- ※今回の宿泊旅費.XML を読み込んでもマスタバージョンは変更されません。

マスタへの登録が確認出来たら最後に Excel シートの切り替え処理に進んで下さい。

3. Excel シートを新しいものに切り替える

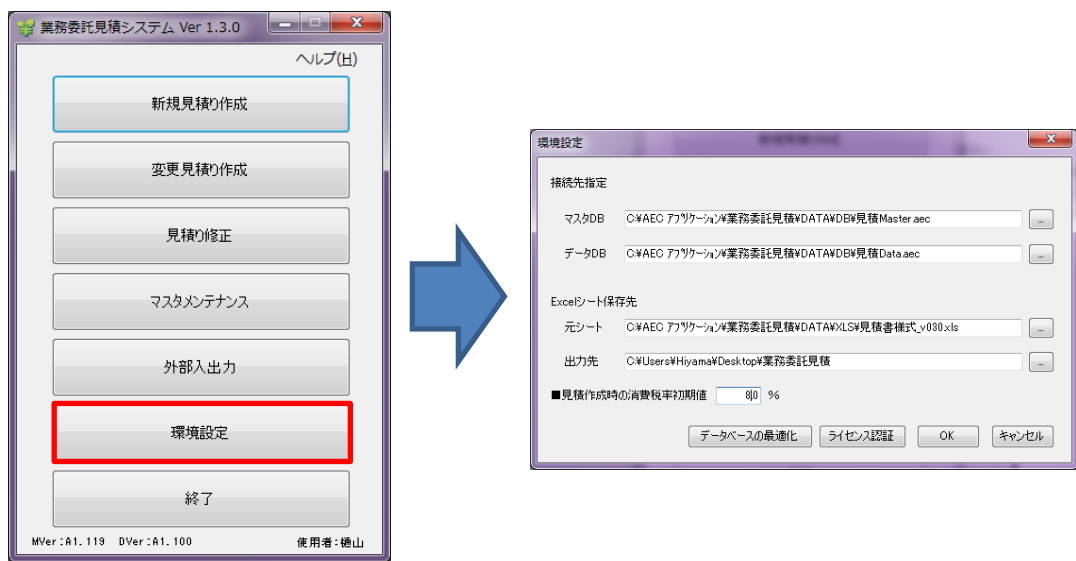
今回の追加機能である宿泊旅費の計算結果は独自の様式を使用するため、Excel の元シートを新しいものに置き換えて頂く必要があります。

弊社が用意した Excel シートをそのままご利用の場合と鏡などを独自に加工されている場合で適用方法が異なりますので、それぞれに合った方法でシートを最新の状態にしてください。

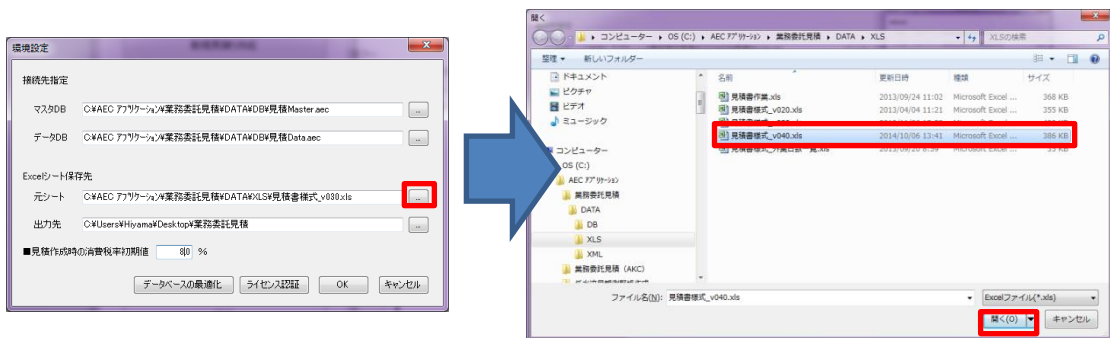
3-1. <シートを加工していない場合>

弊社が用意した Excel シートをそのままお使いの場合は、環境設定で Excel の元シートを今回システムをバージョンアップした際に同時にインストールされている新しいものに切り替えて下さい。

- (1) 初期メニューから「環境設定」を開きます。



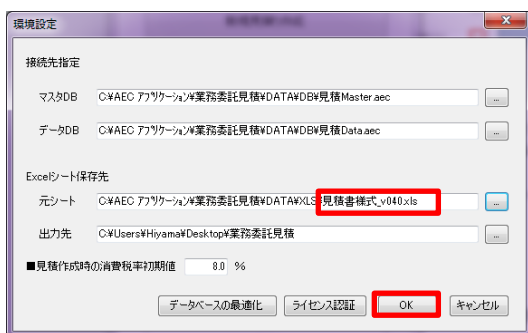
- (2) 「Excel シート保存先」の「元シート」の右の「...」ボタンを押し、今回インストールされている「見積書様式_v040.xls」を選択します。



※新しい Excelシートはシステムのインストールフォルダ配下の XLS フォルダ内にあります。(既定のインストールフォルダは C:\¥AEC アプリケーション¥業務委託見積¥DATA¥XLS)

- (3) 「元シート」が新しいシートに切り替わっていることを確認して「OK」ボタンをクリックし環

環境設定を閉じます。



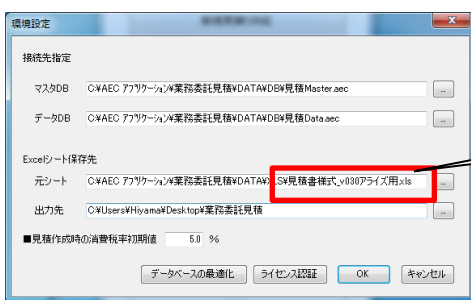
以上でシートの切り替えは完了です。

3-2. <シートを加工している場合>

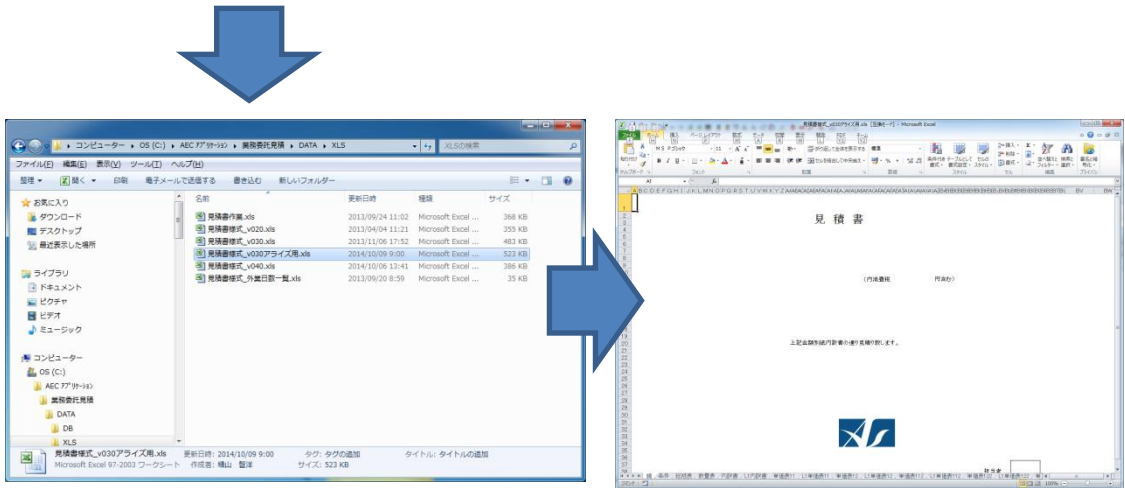
今回のバージョンアップに付随して配布させて頂く新しい Excel シートファイル「見積書様式_v040.xls」に現在お使いの Excel シートから独自に加工されているシート部分をコピーして置き換えて下さい。

以下では「鏡」を独自に加工されている「見積書様式_v030 アライズ用.xls」というファイルを使用している場合を想定し説明します。

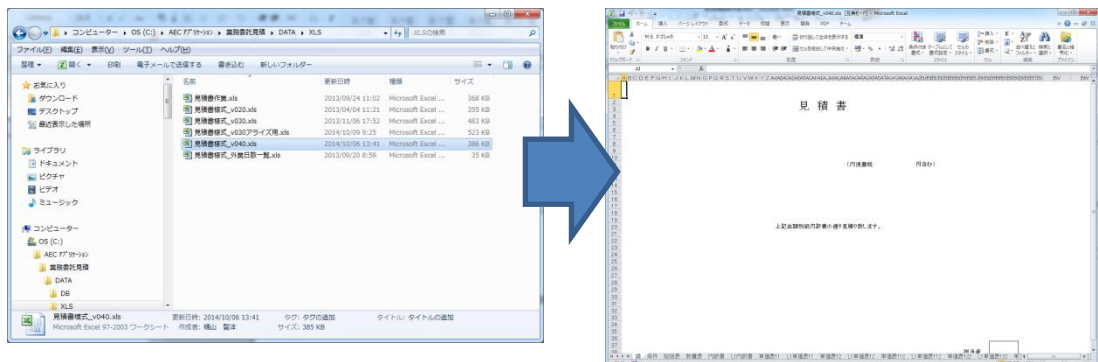
- (1) 環境設定を開き見積システムで現在使用している Excel シートファイルを確認して、その Excel ファイルを直接開いて下さい。



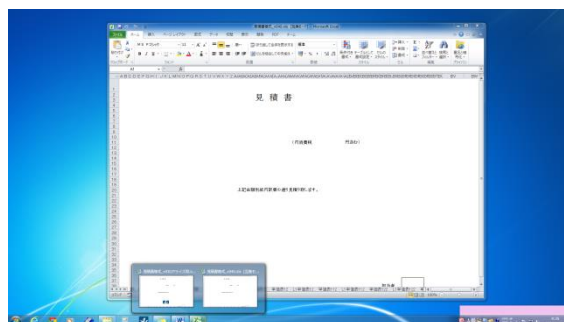
エクスプローラ等で確認したファイルを開きます。



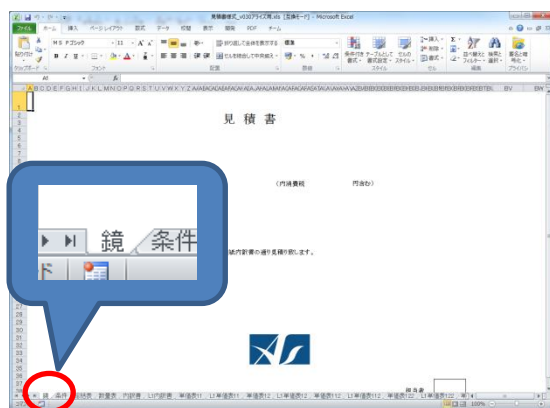
- (2) 今回のシステムインストールでインストールされた「見積書様式_v040.xls」を開いて下さい。(通常インストールの場合「C:\¥AEC アプリケーション¥業務委託見積¥DATA¥XLS」に入っています。)



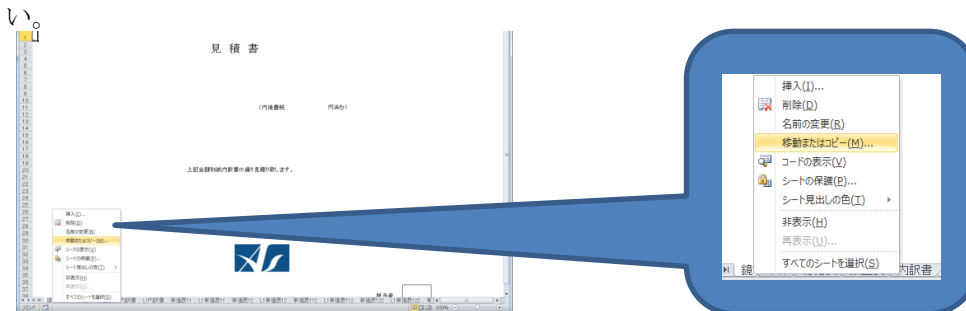
※ Excel シートが2つ開いた状態にして下さい。



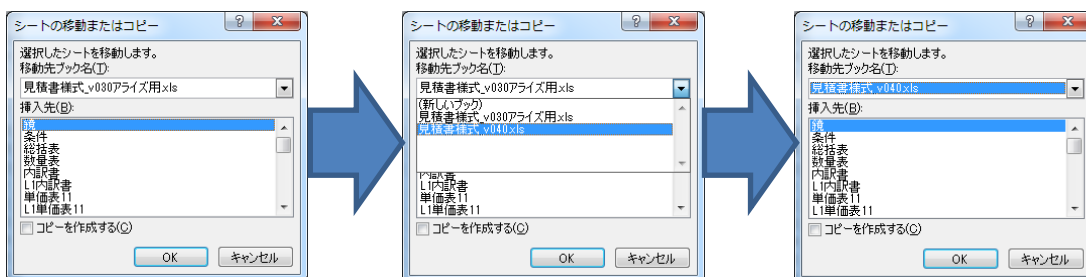
(3) 現在使用中の Excel シートにある「鏡」シート（下部タブの一番左にあります）を選択して下さい。



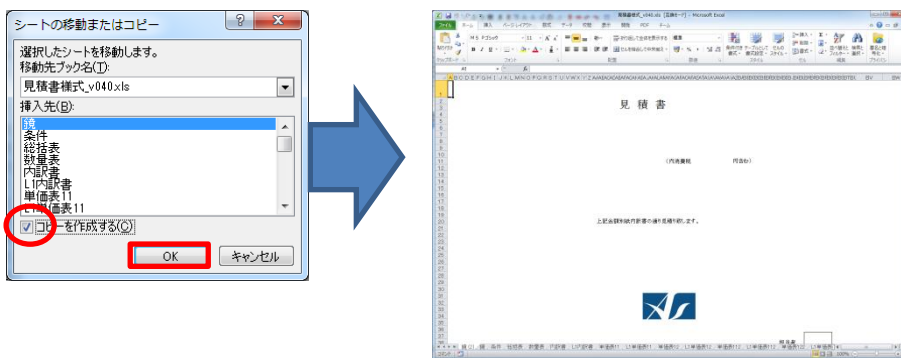
(4) 「鏡」タブにマウスポインタを位置づけ右クリックし「移動またはコピー (M)」を選択して下さい。



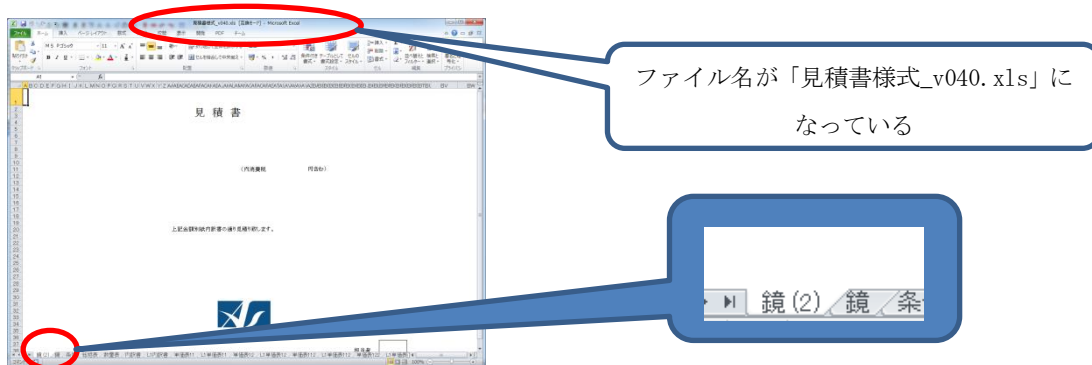
(5) 「移動先ブック名」を(2)で開いた今回インストールされた「見積書様式_v040.xls」シートに切り替えて下さい。



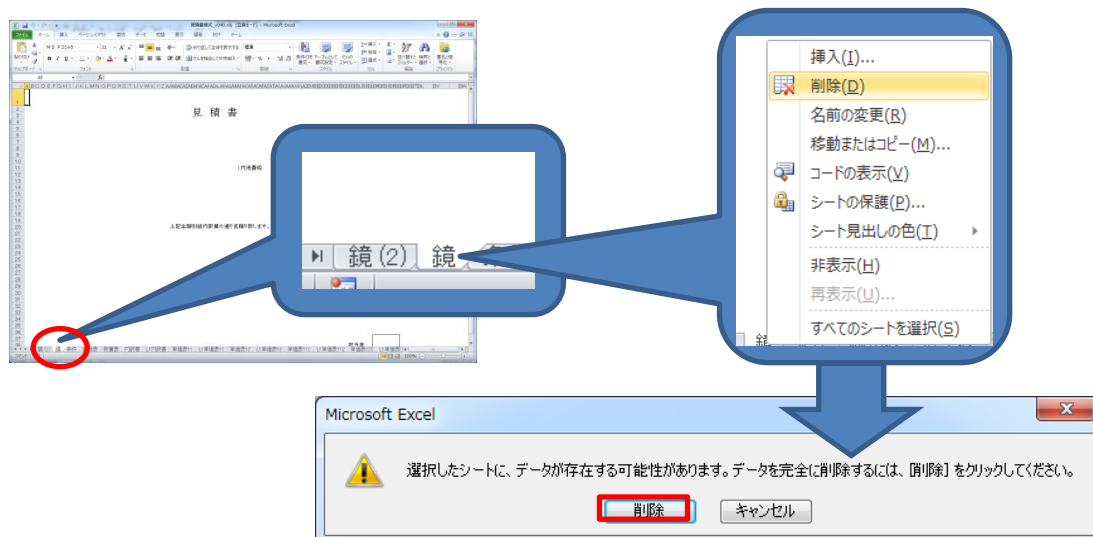
(6) 「挿入先」を「鏡」にして「コピーを作成する」にチェックを入れ[OK]を押して下さい。



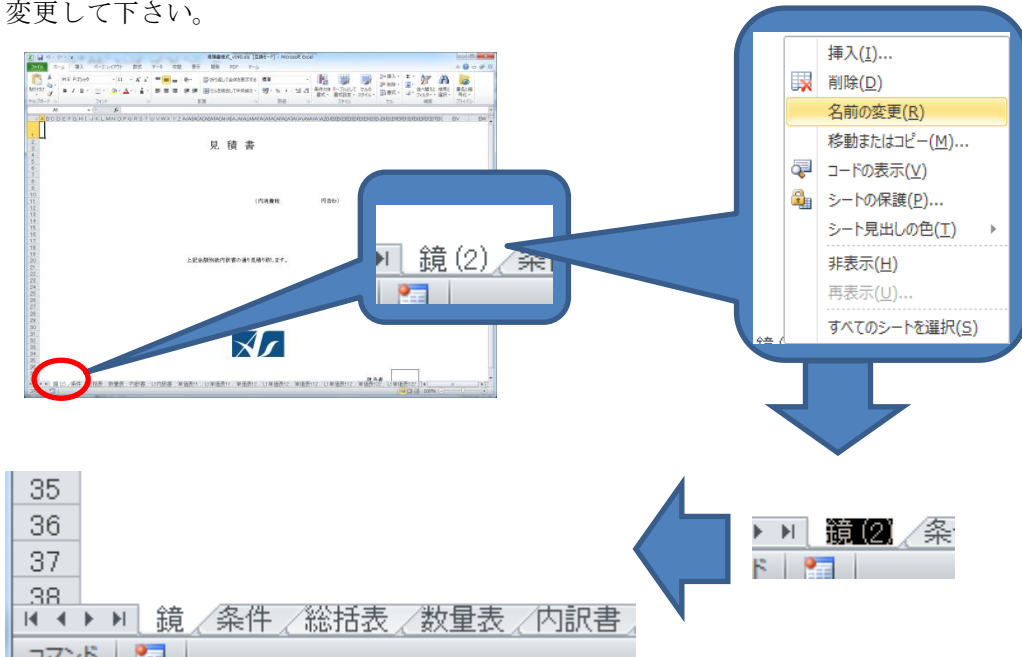
(7) シートがコピー先に切り替わり「鏡」シートがコピーされ「鏡 (2)」タブが作成されます。



(8) 次に「鏡 (2)」タブが追加されたシート（「見積書様式_v040.xls」）にある「鏡」タブを右クリックし「削除」を選択して下さい。「選択したシートにデータが存在する」旨の確認が表示される場合は再度「削除」をクリックして「鏡」タブを削除して下さい。



- (9) 「鏡 (2)」タブを右クリックし「名前の変更」を選択するとタブ名称が変更出来るので「鏡」に変更して下さい。

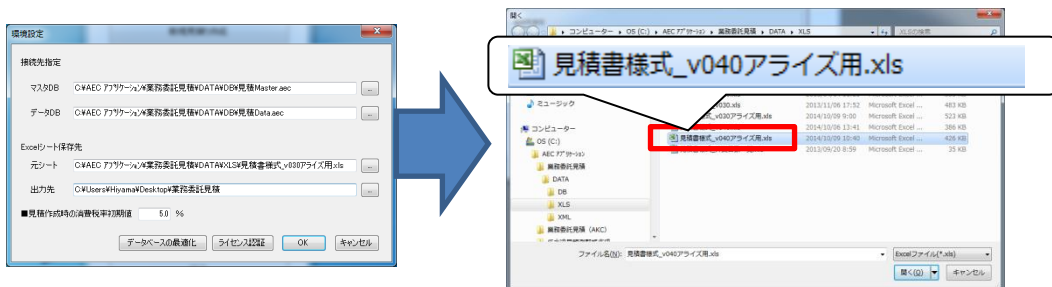


- (10) 以上のように加工したシート部分を移し終えたら、その状態で「見積書様式_v040.xls」シートを「名前を付けて保存」して下さい。



※ 「見積書様式_v040.xls」のまま保存しないように注意して下さい。同ファイルはシステムセットアップの都度、上書き更新されます。

- (11) 見積システムを起動し「環境設定」で (10) で名前を付けて保存したシートを選択して下さい。



以上で Excel シートの切り替え作業は終了です。